

生態系ネットワーク形成の県内展開について

〈モデル事業実施地域 H22～24〉

名古屋東部丘陵(市街地モデル) 23年3月協議会設立

- 《テーマ》23大学が先導する、ギフチョウやトンボの舞うまちづくり
- 《趣旨》大学キャンパス、企業、公共施設の敷地、緑地、水辺などを再生・ネットワーク化し、東部丘陵の生態系を保全再生
- 《事業例》・あいち自然再生カレッジ(参加大学の連続講座)
・湿地整備(県大等)

西三河(里山モデル) 23年3月協議会設立

- 《テーマ》最先端のものづくりと最先端のエコロジーが好循環する暮らしを目指して
- 《趣旨》耕作放棄地の活用、放置された人工針葉樹林の適度な広葉樹林化とともに、これらをネットワーク化し、より豊かな生態系を保全・再生
- 《事業例》・工場敷地におけるビオトープの創出
・企業緑地の種子を用いた家庭や学校での地域性苗木の育成・普及(COOP あいち、ソニーの森等)
・法面等への地域性苗木の植栽(NEXCO 中日本)

知多半島(里地モデル) 23年1月協議会設立

- 《テーマ》ごんぎつねと住める知多半島を創ろう
- 《趣旨》農地やため池とその周辺の森を再生・ネットワーク化し、海のある里地里山を保全再生
- 《事業例》・臨海部の企業緑地整備(10社)
・ビオトープの創出(豊田自動織機)

〈生態系調査 H23～〉

H23 尾張北部

- 25年10月協議会設立
- 《テーマ》うらやまの豊かな自然を再発見しよう

新城・設楽

- 25年10月協議会設立
- 《テーマ》樹を活かす、地域を活かす、森のちからと人の営みが調和する奥三河

H24 東三河

- 26年2月協議会設立
- 《テーマ》(案)穂の国いきものがたり、子どもたちへ水と緑でつなげよう

H25 渥美半島

H26 以降予定
西三河南部
尾張南部

生態系調査

- (趣旨) ・生態系ネットワーク形成の予備的調査
- (内容) ・自然的、社会的状況の整理
・池沼、河川等の現地調査、ネットワーク拠点抽出
・生態系ネットワークの形成方針の検討 など

